

フォトしまね

Photo Shimane

No.233



新春知事対談

TBSディレクター

福澤克雄氏 × 丸山達也 知事

表紙：談笑する福澤克雄氏と丸山達也知事(島根県庁前・松江市)



若手社員にしまねの企業で働く魅力を語ってもらいます。



Work

子どもたちに絵本の読み聞かせをする小瀧さん

社会福祉法人
あすなる会
あすなる保育園 出雲市
小瀧 美由紀さん

園児に囲まれて笑顔で絵本の読み聞かせを行っているのは保育士12年目の小瀧美由紀さんです。子どもたちが安心して過ごせるよう日々奮闘しています。



休日に長女と遊ぶ小瀧さん

「昔から子どもが好きで関係する仕事に就きたかった」という小瀧さんは、県外の短大を卒業してあすなる保育園に就職。県外で働くか迷った時期もありましたが、親や友人がいて自然も豊かな地元が一番と考えました。

現在は1歳児のクラスを担当。乳幼児の成長は著しく「言葉が話せるようになった」「自分でズボンをはけるようになった」など、「日々の小さな成長を見られるのがやがいが」と話します。

一方、家庭では1歳の長女を育てる母親でもあります。休みの日には近くの公園に行ったり、買い物を楽しんだりするなど私生活も充実しています。そのような中で子どもへの体調が優れない時は急ぎや休みを取らせてもらえるなど働きやすい職場だと言います。

「これからも愛着のある島根で子どもたちが成長する姿を見守っていききたい」と決意を新たにしています。

職場のここが魅力!

- 1 休暇制度が充実**
リフレッシュ休暇やバースデー休暇に加え、不妊治療休暇やLGBTQ配慮休暇などの多様な休暇制度を設け、職員の休み方改革を進めています。
- 2 女性専用休憩室の設置**
女性職員が業務から離れて落ち着いて休める場所を確保するため、敷地内にドーム型の休憩室を設けています。



女性専用休憩室

法人概要 / [設立]昭和46年4月[事業内容]一般介護サービス・保育・放課後児童健全育成事業
[従業員数]192人(令和5年10月1日現在)[所在地]出雲市白枝町

問い合わせ先 / 雇用政策課 TEL 0852-22-5305



施設の認知度アップへ奮闘



津和野町の山あいを走っていると、和洋折衷の特徴的な建築様式の建物が目を引きます。国名勝・旧堀氏庭園の一部で、明治中期に設立された私立病院を復元した施設「医食の学び舎 旧畑迫病院」。施設で働く桑原優子さんは、多くの人に魅力を伝えようと試行錯誤を続けています。



旧畑迫病院の前に立つ桑原さん

津和野町教育委員会集落支援員

桑原 優子さん

スタッフとして10年ほど勤めた職場で知り合った夫との結婚を機に平成24年11月に津和野町に移住。平成29年6月から旧堀氏庭園、その後は旧畑迫病院で運営業務に奔走。家庭では二児の母としても奮闘中。

神奈川出身の桑原さんは、津和野町出身の夫との結婚を機に町に移住。当初は虫や雪の多さに驚き、抑揚の少ない方言に苦労しましたが、「都会では体験できない暮らしに次第に引かれていきました。」

旧堀氏庭園での勤務を経て、令和元年10月から旧畑迫病院の運営を担当しています。これまでにナース服の変遷をたどる展示の企画、全長約40メートルの板張り廊下を競技場にした「ぞうさんがけレース」の開催など、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントを手掛けて施設の認知度向上に力を注いでいます。

歴史的な施設で勤務するにあたっては地域のお年寄りから昔話を聞くなど、日々勉強です。「勤めて4年ですがまだまだ知らないことだらけ。でもそれが楽しい」と笑います。

桑原さんの努力が徐々に実を結び、「あそこでも何か面白いことをやっているな」と認知され出していますが、まだまだ来館者が少ない日も多いと話し「いずれは施設に行列ができるくらいの人を呼びたいし、もっともっと多くの人に価値を知ってもらいたい」と意気込んでいます。